

1 調査日 平成 29 年 2 月 7 日（火）

## 2 調査の概要

### (1) 滋賀県立図書館（大津市）

本県では、これまで全国 1 位であった「公立図書館の県民 1 人当たり図書貸出冊数」が平成 26 年度には 2 位となり、新刊図書の購入予算も減少傾向にある。また、新しい出版の形態である電子書籍の動向など、今後の情報化社会への進展も視野に入れた県民への資料提供のあり方についても検討する必要がある、県教育委員会では今後の 10 年を見据えた「(仮称) これからの滋賀県立図書館のあり方」を策定することとしている。

については、「(仮称) これからの滋賀県立図書館のあり方」についての審議の参考とするため、県立図書館の現状と課題について調査を行った。



### (2) 滋賀県警察学校（大津市）

滋賀県警察は、警察官 1 人当たりの負担人口が全国で 2 番目に多く、警察官 1 人当たりの刑法犯認知件数や交通事故の発生件数についても全国と比較して非常に多い状況となっている。

こうした状況を解消するためには、警察官の増員を図る必要があるが、警察官 1 人当たりの負担人口を全国平均並みとするには約 600 人の増員が必要であり、早期の実現は困難な状況にあることから、当面は一人一人の警察官がその能力を最大限発揮して、県民の安心安全を守ることが求められる。

については、滋賀県警察学校において、警察官の採用時教養について調査を行った。

